

## 平成26年度 保護者アンケート(全体)

1…そう思う　2…大体そう思う　3…あまりそう思わない　4…そう思わない　5…評価できない  
 評価（1～5）のあてはまるところに○を入れてください

回収率　95 %　　42人中　　40人提出

数字は人数を表す

実践分野	具体的な実践内容	評 価				
		1	2	3	4	5
保育相談部	保育で音声言語、身振り、手話、絵カードなど様々な手段を使い、親子のコミュニケーションを促している。	13	5	1	1	20
	個々の幼児に合った教材を用意し、遊びながら聴覚活用を促している。	12	7	1		20
	子育てについての悩みや幼児の課題について話し合い、必要なアドバイスを行っている。	9	9	1	1	20
	家庭用DVDの配布や再現遊びのおもちゃ作りなど、家庭でも親子で取り組めるよう具体的な指導やアドバイスを行っている。	16	2	1	1	20
	聴覚障害に対する理解を深めるための保護者研修や学級懇談（すみれの会・たんぼぼの会）を定期的に行っている。	17	2		1	20
幼稚部	幼児の発達を踏まえた保育に取り組んでいる。	13	7	2	1	17
	個々の幼児の課題を明確にし、個別指導や発音指導を充実させている。	15	8		1	16
	行事やなかよし活動及び交流を通して、異年齢の子どもの人間関係づくりに取り組んでいる。	15	6	1	1	17
	幼稚部の保育を通して、主体的に取り組む姿勢や協力する気持ちなどを育成している。	16	6		2	16
	保護者や各家庭の事情を的確に踏まえ必要な保護者支援を継続的に行っている。	7	12	2	2	17
	様々な保護者研修を定期的に行い、聴覚障害教育への理解を促している。	17	6			17
相談センター一部	医療機関や補聴器業者と連携をとり、補聴支援、情報提供、助言を行っている。	8	11	1	1	19
	必要に応じて、きこえや補聴機器に関する情報提供を行っている。	10	9	2		19
	聴覚特別支援学校としての専門性を活かし、聞こえやことばに関する教育相談を行っている。	10	10		1	19
開かれた学校づくり	学校行事を通して本校の教育活動を広く公開し、聴覚障害教育への理解啓発に努めている。	15	15	1	2	7
	保護者の保育への参観と参加を促し、本校教育に対する理解を深めている。	19	13		2	6
	ホームページを通して本校の新しい情報をできる限り提供している。	14	14	2	2	8
危機管理	心肺蘇生法及びAEDの講習を行い、幼児の命を守る技術と意識を高めている。	19	7		1	13
	避難訓練を通して、命や安全への意識、速やかな避難の大切さを認識させている。	26	8		1	5
	施設・設備・備品の管理を日常的に行い、事故防止に努めている。	12	14	2	3	9
健康教育	消毒セットの常備（環境衛生）や手洗いうがい等の励行により、感染症を予防している。	22	11	1	1	5
	保健日よりや保健のお話等を通じ、親子の健康管理に対する意識を高めている。	26	8		1	5
給食	楽しい給食の時間になるよう、季節の行事を取り入れた献立を作成し、子どもの嗜好に合わせた給食作りを行っている。	21	1		1	17
	お箸の持ち方・手洗い・歯磨きなどの指導を行い、望ましい食習慣の定着に努めている。	21			1	18
人権教育	保育場面や活動等での、発言や当番活動を通して責任感や達成感を育てている。	16	11		2	11
	飼育・栽培等の学習を通して、自然とのふれあいや生命の尊さを実感させている。	10	13	4	2	11
その他	研究授業や様々な研修を通して、教員の専門性の向上に努めている。	14	13	3	1	9
	ボランティアによる絵本の読み聞かせを実施し、親子で絵本を読む習慣を促している。	20	9		1	10
	季節や行事に合わせた絵本を手の届きやすいところに配置したり、紹介したりしている。	25	8		2	5